

目標 男女共同参画社会の実現をめざして

平成32年度までに
ここまで
目指します!



計画の 体系図

6つの基本理念

男女の人権の尊重

女性と男性が性別による差別的な取扱いを受けないよう、女性と男性の個人としての人権を尊重すること。

性別による固定的な役割分担意識等の解消と多様な生き方の選択

性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく社会慣行を解消して、女性と男性が自分の意思で多様な生き方を選択できるようにすること。

政策や方針の立案・決定の場への男女共同参画

女性と男性が市の政策や企業・団体などの方針の立案・決定の場に共同して参画できること。

家庭生活と社会生活における活動への男女共同参画

女性と男性が互いの協力と社会の支援のもとに、子育てや介護、仕事、学習、地域活動などに対等に参画すること。

生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

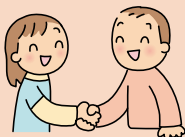
女性と男性が対等な関係のもとに、互いの性に関する理解を深め、妊娠、出産など、女性の生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利を尊重すること。

国際的協調

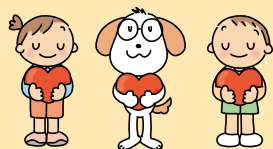
ほかの国々や国際機関とともに歩み、相互に協力して、男女共同参画社会の実現に向けて取り組むこと。

5つの基本目標

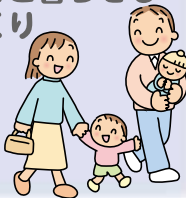
1 男女共同参画意識の普及啓発



2 あらゆる暴力の根絶



3 男女が共にいきいきと暮らせる環境づくり



4 男女共同参画によるまちづくりの推進



5 男女共同参画わこうプランの着実な推進

主要目標

- 男女の人権を尊重する意識の浸透
- 性別による固定的な役割分担意識の解消
- 男女平等教育の推進

- 暴力の根絶に向けた意識の浸透

- 相談窓口の充実と周知
- 被害者支援体制の強化と被害者の自立支援

- 子育てにおける男女共同参画の推進

- 働く場における男女共同参画の推進

- 生涯を通じた生と性の健康支援

- 政策や方針の立案・決定の場への男女共同参画

- 地域における男女共同参画の推進

- 国際社会「平等・開発・平和」への貢献

男女共同参画推進体制の強化と計画の推進

指標

『社会全体で男女の地位が平等になっていると考える人の割合』

21.8% (現状値) ▶ 35% (目標値)

『「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識に同感しない人の割合』

44.5% (現状値) ▶ 70% (目標値)

『性別による固定的な役割分担意識に同感しない子どもの割合』

中学校50.8% (現状値) ▶ 70% (目標値)
小学校43.5%

『配偶者や恋人間におけるDVに対する認識の割合』

身体的暴力94.8%、精神的暴力91.7%、性的暴力86.7%、
経済的暴力81.0% (現状値) ▶ 100% (目標値)

『DV被害を相談した人の割合』 32.7% (現状値) ▶ 80% (目標値)

『DV被害を受けている人の割合』 24.1% (現状値) ▶ 0% (目標値)

『夫婦で子育てをしている割合』 27.8% (現状値) ▶ 50% (目標値)

『男性の育児休業取得へ理解を示す人の割合』

女性60.8% (現状値) ▶ ともに 70% (目標値)
男性63.3%

『性感染症の予防方法について知っている人の割合』

81.2% (現状値) ▶ 90% (目標値)

『審議会等における女性委員の割合』

34.7% (現状値) ▶ 50% (目標値)

『地域行事に男女共同で参加する人の割合』

33.7% (現状値) ▶ 50% (目標値)

『女子差別撤廃条約を知っている人の割合』

68.4% (現状値) ▶ 75% (目標値)

『和光市男女共同参画推進条例を知っている人の割合』

67.4% (現状値) ▶ 75% (目標値)

